

第15回日本ウーマンズヘルス学会学術集会

メインテーマ

女性のさらなる QOLの向上を目指して

会期 平成28年7月31日(日)

会場 リーガロイヤルホテル東京

大会長 久米美代子 (いわき明星大学学修総合支援センター 教授)

教育講演

『女性の美と健康を支えるペリネの保護と強化について
～フランス発・ペリネのリハビリとガスケアアプローチ～』

シャラン山内由紀 (Institut de Gasquet コーディネーター／助産師)

シンポジウムテーマ

『ガスケアアプローチ法を取り入れた患者ケアならびにセルフケアの実践から』

「ガスケアアプローチによる生理的なお産で日本を変える」

宋美玄 (FMC東京クリニック／産婦人科医)

「全ての人に伝えたいガスケアアプローチ

～腰痛・骨盤帯痛・尿失禁患者に対する理学療法の臨床から～」

瀬戸景子 (医療法人社団永生会南多摩病院 リハビリテーション科／理学療法士)

「助産師ができるペリネケアの実践

～妊娠期・分娩期・産褥期を通じた、女性のからだの保護とリハビリについて考える～」

大野芳江 (日本赤十字医療センター・周産母子小児センター産科病棟／助産師)

協賛:  いわき明星大学
IWAKI MEISEI UNIVERSITY

【参加費用】

会 員 5,000円

非会員 6,000円

学 生 1,000円 (院生を除く)

【学術集会事務局】

いわき明星大学学修総合支援センター内

Mail: whseditor@iwakimu.ac.jp

<http://www.whs.jp/>

